

市民の運動習慣の現状と課題について

平成 19 年 3 月策定 枚方市スポーツ振興ビジョン 資料編

3.スポーツ生活実態調査より抜粋

1. 有効標本数の内訳

本調査の有効標本数の内訳をみると、性別では男性より女性が若干多く、年代では 60 歳以上の高齢者層の回答が若干少ない傾向がありますが、大きな偏りはなく有効回答を得ることができました。

表 1 性別有効標本数

性別	n	全標本 (510)を母 数とする%
男性	204	40.0
女性	305	59.8
不明	1	0.2
合計	510	100.0

表 2 年代別有効標本数

年代	n	全標本 (510)を母 数とする%
20歳代	65	12.7
30歳代	117	22.9
40歳代	104	20.4
50歳代	121	23.7
60歳代	88	17.3
70歳以上	13	2.5
不明	2	0.4
合計	510	100.0

2. 運動生活の背景

市民の運動やスポーツ生活の背景になると考えられる「運動不足感」や「健康や体力に対する不安」については、8割強（81.2%）の市民が運動不足を感じており、ほぼ 7 割（65.5%）の市民が健康や体力に不安を抱いているという結果となっています。

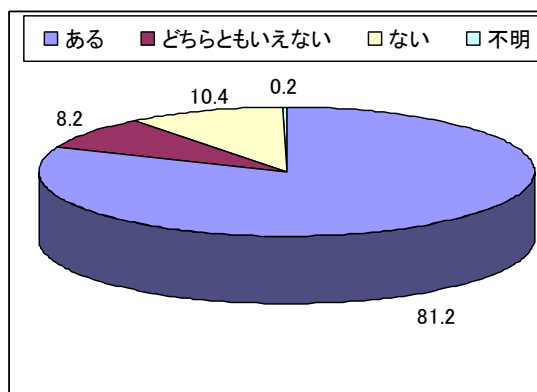


図 1 運動不足感

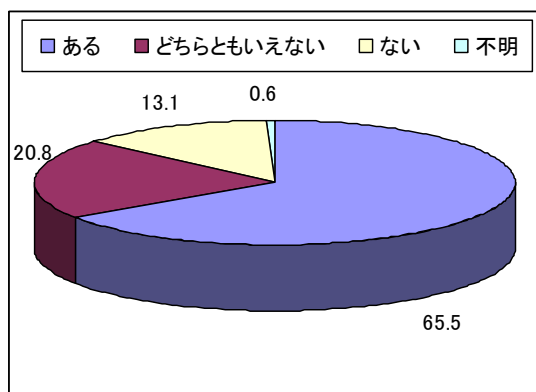


図 2 健康や体力に対する不安

3. 運動生活の実態

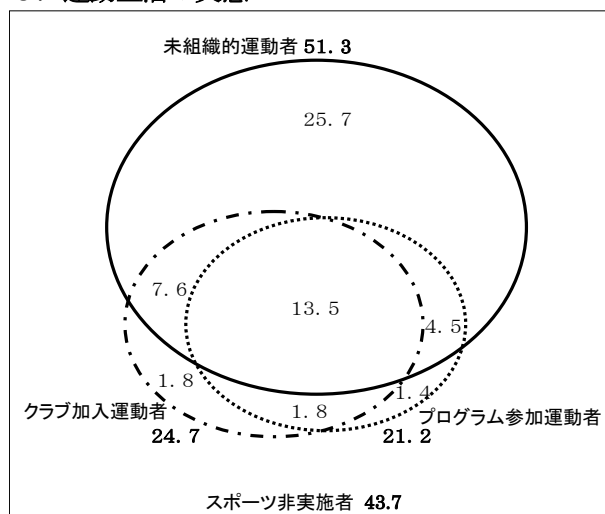


図 3 枚方市民の運動生活

市民の運動やスポーツとの関わりは、基本的に次の4つの層でとらえられます。

A 運動者：個人的・未組織的に運動やスポーツを実施している市民（51.3%）。

C 運動者：クラブやサークル同好会等に参加して運動やスポーツを実施している市民（24.7%）。

P 運動者：運動やスポーツの行事や教室に参加して運動やスポーツを実施している市民（21.2%）。

S 運動者：年間に運動やスポーツを実施しなかった市民（43.7%）。

4 A運動者（個人的・未組織的運動者）のスポーツ生活の実情

A運動者は、施設や場所を使って個人的・未組織的に、運動やスポーツを実施している人たちです。活動場所として最も多いのが、「公園、河川敷、道路（歩道）」で、市民のほぼ4人に1人（24.7%）、A運動者でみると、ほぼ半数（48.1%）に利用されています。

表3 A運動者の利用施設・場所

運動種別・活動場所	n	全標本 (510)を母 数とする%	A運動者 (262)を母 数とする%
公園、河川敷、道路等でのジョギング、ウォーキングなど	126	24.7	48.1
家の庭や公園での体操やキャッチボール等の運動	77	15.1	29.4
水泳プールを利用した水泳	71	13.9	27.1
登山、キャンプ、釣りなどの野外での活動	66	12.9	25.2
屋外スポーツ施設を利用した球技等の活動	66	12.9	25.2
屋内スポーツ施設を利用した球技等の活動	46	9.0	17.6
スポーツ施設を使っのフィットネス等の活動	45	8.8	17.2
海水浴(湖などでの水泳)などのマリンスポーツ	44	8.6	16.8
家の中での健康器具等を使用したの運動	37	7.3	14.1
屋内スポーツ施設・武道場を利用したの武道	5	1.0	1.9
その他	17	3.3	6.5

活動単位については、「家族と」（44.3%）が最も多く、続いて「一人で」（29.0%）、「地域の仲間と」（28.6%）他となっています。

表4 A運動者の活動仲間・活動単位

活動単位	n	全標本 (510)を母 数とする%	A運動者 (262)を母 数とする%
家族と	116	22.7	44.3
一人で	76	14.9	29.0
地域の仲間と	75	14.7	28.6
職場の仲間と	39	7.6	14.9
民間スポーツ施設を一緒に利用している仲間と	24	4.7	9.2
学校関係の仲間と	11	2.2	4.2
その他	16	3.1	6.1

A運動者の活動頻度は、「1週間に1回以上」が最も多く、全市民でみても、約2割（18.4%）が、1週間に1回以上の頻度で個人的・未組織的なスポーツ活動を行なっていることになります。

表5 A運動者の活動頻度

活動頻度	n	全標本 (510)を母 数とする%	A運動者 (262)を母 数とする%
1週間に1回以上	94	18.4	35.9
月に2～3回	70	13.7	26.7
年に数回	91	17.8	34.7
不明(7)及び非該当(248)	255	50.0	2.7
合計	510	100.0	100.0

市民にとって、既存の施設や場所を使って、個人的・未組織的に運動やスポーツを行なうに至らなかった理由として、最も多かったのが「時間がない」（非 A 運動者の 47.4%）、「活動仲間がいない」（非 A 運動者の 33.2%）、「施設や場所の情報が少ない」（非 A 運動者の 31.2%）他の順となっています。

表 6 A 運動者とならなかった理由（抵抗条件）

抵抗条件	n	全標本 (510)を母 数とする%	非A運動者 (247)を母 数とする%
時間がない	117	22.9	47.4
活動仲間がいない	82	16.1	33.2
施設や場所の情報が少ない	77	15.1	31.2
施設や場所がない	50	9.8	20.2
体力に自信がない	45	8.8	18.2
興味・関心がない	40	7.8	16.2
運動は苦手だから	39	7.6	15.8
その他	28	5.5	11.3
指導者がいない	18	3.5	7.3

5 C 運動者の（クラブやサークル、同好会加入者）のスポーツ生活の実情

市民の加入しているスポーツクラブについてみると、C 運動者の過半数（51.6%）が「主に地域の人たちからできているもの」に加入しています。これは、全市民の 1 割以上（12.7%）に相当する割合となっています。次に、「民間施設にある会員制クラブ」への加入者が、C 運動者のほぼ 4 人に 1 人（24.6%）、「主に職場の仲間からできているもの」への加入者が、C 運動者の 1 割強（13.5%）他と続いています。

表 7 C 運動者の加入スポーツクラブの設立基盤

設立基盤	n	全標本 (510)を母 数とする%	C運動者 (126)を母数 とする%
主に地域の人たちからできているもの	65	12.7	51.6
民間施設にある会員制のクラブ	31	6.1	24.6
主に職場の仲間からできているもの	17	3.3	13.5
その他	10	2.0	7.9
主に学校関係の仲間からできているもの	7	1.4	5.6

C 運動者の利用施設で最も多いのが、「民間のスポーツ施設」で、C 運動者のほぼ 3 割（29.4%）となっています。続いて、「小学校の体育館」利用が C 運動者の 2 割強（21.4%）、「市内の公共スポーツ施設」利用者が同 15.9%となっています。

表 8 C 運動者の利用施設

利用施設	n	全標本 (510)を母 数とする%	C運動者 (126)を母 数とする%
民間のスポーツ施設	37	7.3	29.4
小学校の体育施設	27	5.3	21.4
市内の公共スポーツ施設	20	3.9	15.9
市外の公共スポーツ施設	11	2.2	8.7
中学校の体育施設	5	1.0	4.0
職場のスポーツ施設	2	0.4	1.6
その他	14	2.7	11.1
不明(10)及び非該当(384)	394	77.3	7.9
合計	510	100.0	100.0

次に、C 運動者の活動頻度についてみると、C 運動者のほぼ半数（47.6%）が1週間に1回以上の頻度で運動やスポーツを実施しています。一方、「年に数回程度」という活動頻度のC運動者も2割弱（16.7%）存在しています。

表9 C 運動者の活動頻度

活動頻度	n	全標本 (510)を母 数とする%	C運動者 (126)を母 数とする%
1週間に1回以上	60	11.8	47.6
月に2～3回程度	36	7.1	28.6
年に数回程度	21	4.1	16.7
不明(9)及び非該当(384)	393	77.1	7.1
合計	510	100.0	100.0

クラブやサークル、同好会等に参加していない理由については、クラブ非加入者のほぼ半数（45.8%）が「時間がない」という理由をあげています。他に、「どこにクラブがあるのか知らない」という理由がクラブ非加入者の約3割（29.7%）、「活動仲間がいない」がほぼ2割（23.2%）と、相対的に高い割合となっています。

表10 C 運動者とならなかった理由（抵抗条件）

抵抗条件	n	全標本 (510)を母 数とする%	非C運動者 (384)を母 数とする%
時間がない	176	34.5	45.8
どんなクラブがあるのか知らない	114	22.4	29.7
活動仲間がいない	89	17.5	23.2
興味・関心がない	66	12.9	17.2
身近に施設がない	64	12.5	16.7
加入したいクラブがない	56	11.0	14.6
体力に自信がない	56	11.0	14.6
運動は苦手だから	42	8.2	10.9
指導者がいない	10	2.0	2.6
その他	34	6.7	8.9

市民が求めるスポーツクラブ像については、「明るい雰囲気クラブ」が最も多く市民の47.3%から求められています。続いて、「いろいろな世代の人たちがともに集えるようなクラブ」（46.1%）、「いろいろな種目を楽しむことができるクラブ」（45.9%）、「運動の指導をしてくれる指導者がいるクラブ」（33.5%）他となっています。

表11 地域に求めるスポーツクラブ像

求めるクラブ像	n	全標本(510) を母数とす る%
明るい雰囲気クラブ	241	47.3
いろいろな世代の人たちがともに集えるようなクラブ	235	46.1
いろいろな種目を楽しむことができるクラブ	234	45.9
運動の指導をしてくれる指導者がいるクラブ	171	33.5
スポーツ以外の文化的な活動もできるクラブ	161	31.6
クラブ運営の世話をしてくれる人がいるクラブ	75	14.7
技能の上達など活動の成果が実感できるクラブ	66	12.9
その他	19	3.7

政策としても推進されている総合型地域スポーツクラブについての認知度については、「知らない」という市民が8割を超えており（80.2%）、総合型地域スポーツクラブが未だ市民に親しまれている状況にあるとはいえません。

しかしながら、総合型地域スポーツクラブに関する認知度は決して高くないものの、総合型地域スポーツクラブの特徴である「多種目」「多世代」型のクラブに対する市民のニーズは高いことがわかります。

表 12 総合型地域スポーツクラブの認知状況

認知状況	n	全標本 (510)を母 数とする%
知っている	19	3.7
見たり聞いたりしたことはある	38	7.5
知らない	409	80.2
不明	44	8.6
合計	510	100.0

6 P 運動者の（イベントや教室参加者）のスポーツ生活の実情

P 運動者の参加プログラム種別についてみると、P 運動者のほぼ4割（38.0%）が「地域住民が参加する運動会、マラソン大会などのイベント」に参加しており、最も高い割合を示しています。続いて、「ヨガや体操、フィットネスなどの健康教室」への参加が23.1%、「野球、バレーボール、武道などの競技大会」への参加が20.4%他となっています。

表 13 P 運動者の参加プログラム種別

参加プログラム種別	n	全標本 (510)を母 数とする%	P運動者 (108)を母 数とする%
地域住民が参加する運動会、マラソン大会などのイベント	41	8.0	38.0
ヨガや体操、フィットネスなどの健康教室	25	4.9	23.1
野球、バレーボール、武道などの競技大会	22	4.3	20.4
テニスやバドミントンなどの種目のスポーツ教室	15	2.9	13.9
体力や運動能力テストなどのイベント	6	1.2	5.6
その他	18	3.5	16.7

P 運動者が、だれとスポーツ関係のイベントや教室に参加しているのかについては、「地域の仲間と」が最も多く、P 運動者の43.5%となっています。続いて、「家族と」が33.3%、「一人で」が21.3%他となっています。

表 14 P 運動者の活動参加の単位

参加単位	n	全標本 (510)を母 数とする%	P運動者 (108)を母 数とする%
地域の仲間と	47	9.2	43.5
家族と	36	7.1	33.3
一人で	23	4.5	21.3
民間スポーツ施設を一緒に利用している仲間と	12	2.4	11.1
職場の仲間と	8	1.6	7.4
学校関係の仲間と	7	1.4	6.5
その他	6	1.2	5.6

運動やスポーツのイベントや教室に参加しなかった理由についてみると、最も多かったのが「時間がない」で、非P運動者のほぼ半数（46.0%）となっています。続いて、「参加したい行事や教室がない」（22.3%）、「イベント情報が少ない」（22.0%）、「活動仲間がいない」（21.2%）他となっています。

表 15 P運動者とならなかった理由（抵抗条件）

抵抗条件	n	全標本 (510)を母 数とする%	非P運動者 (391)を母 数とする%
時間が無い	180	35.3	46.0
参加したい行事や教室がない	87	17.1	22.3
イベント情報が少ない	86	16.9	22.0
活動仲間がいない	83	16.3	21.2
興味・関心がない	62	12.2	15.9
体力に自信がない	58	11.4	14.8
運動は苦手だから	38	7.5	9.7
その他	30	5.9	7.7

年間にスポーツプログラムに参加しなかった市民に要望の強いスポーツプログラムは、「地域住民が世代を超えてみんなが楽しめるようなもの」が最も多く、過半数（51.4%）の市民から求められています。また、内容面ではなく、「土・日、祝祭日等の休日に実施されるもの」という実施日に関する要望が34.9%と高くなっています。続いて、「子どもの健全育成を目的とするもの」（31.8%）、「各種の運動の行い方が習得できるもの」（28.2%）他となっています。

表 16 希望するスポーツプログラム（イベントや教室）

希望スポーツプログラム	n	非P運動者 (391)を母 数とする%
地域住民が世代を超えてみんなが楽しめるようなもの	262	51.4
土・日、祝祭日等の休日に実施されるもの	178	34.9
子どもの健全育成を目的とするもの	162	31.8
各種の運動の行い方が習得できるもの	144	28.2
平日の夜間等参加しやすい時間帯に実施されるもの	129	25.3
スポーツ以外の文化的な活動も含んだもの	122	23.9
有名な人と一緒に活動できるもの	45	8.8
有名な指導者が指導してくれるもの	35	6.9
その他	13	2.5